

再生・細胞医療戦略マップ[※] の公表後の神奈川の総合戦略

※湘南アイパークの下記HPに掲載

2018.10.12BioJapan 2018、神奈川県主催ランチオンセミナーにて、再生医療実用化にむけた課題と提言（再生医療実用化MAP）を行いました。

<https://www.shonan-health-innovation-park.com/siteassets/pdfs/biojapan2018/181030map-cellm-jp.pdf>

令和元年10月10日（木）

神奈川県ヘルスケア・ニューフロンティア推進本部室

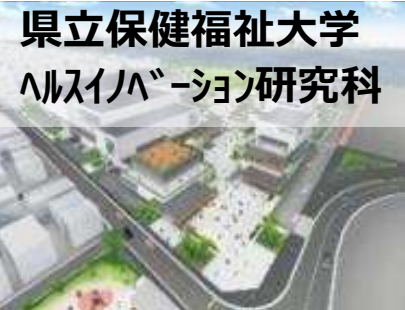
地域イノベーション・エコシステム形成プログラム

副事業プロデューサー 牧野 義之

神奈川の産学公連携活動（30年の活動実績）

1970代の産業空洞化等に対し、長洲知事(元横浜国大経済学部長)が、神奈川を研究開発のメッカにする頭脳センター構想(1978年)を提唱
自治体では全国初となる科学技術政策に関する独自の取組みを開始

**平成当初に、首都圏と神奈川の結節点の武蔵溝ノ口に
アジア初のインキュバート施設かながわサイエンスパークを新設**



**最近6年間は、殿町で、
ライフサイエンスの
科学技術活動を活発化**

2013年、KAST (現KISTEC) の殿町LiSE進出
2016年、ライフイノベーションセンターの開所
2017年、KISTEC誕生 (KASTと産技センター統合)
2019年、県立保健福祉大学のヘルスイノベーション
研究科 (SHI) を殿町に設置



再生・細胞医療の産業化を促進
ライフイノベーションセンター
(4階で(株)ケイエスエーがベンチャー支援
KISTEC事業化プロジェクトの実施)



H28年4月供用開始 延床16,000㎡
県が土地を事業者に無償貸与し
公民協働事業で展開

**昨年度から、大企業ポテンシャルを活用した
民間主導のオープンイノベーションとして、
湘南アイパークの戦略・活動で連携・協働**

2018年4月、県と武田薬品(株)で覚書を締結
2019年5月、県・藤沢市・鎌倉市・湘南アイパーク・湘南鎌倉総合病院で5者覚書を締結

神奈川県（首都圏）の地域主導のオープンイノベーション機能

大学や研究機関及び企業の方が自由に参画し、社会実装を加速化するコーディネート拠点

国家戦略特区

首都圏との広域連携

- ①首都圏と一体的に活動し、日本のサイエンスパークの始まり
「かながわサイエンスパーク」
- ②東京国際空港に隣接するグローバル性と、多摩川挟んで住宅地・工場地とも近接するローカル性の両方を実体感できる
「グローバル拠点：殿町」
- ③ 神奈川県東部のライフサイエンス関係地域と、西部の未病戦略エリアのちょうど中央で、「神奈川県」にあたる
「湘南アイパーク」



ライフサイエンス分野の産業創出

日本発骨太基礎研究の社会実装に向け
サイエンスパーク拠点間連携を軸に
オープンイノベーション拠点の形成

県内外から主要プレイヤーが集結！

有望ベンチャー企業

アカデミア、研究機関

地域異業種企業

地元自治体

サイエンスパーク拠点間連携プロジェクト：再生・細胞医療



平成30年10月

再生・細胞医療戦略マップの作成・公表
(全体の課題と戦略を、産学公関係者から
意見聴取して県と湘南アイパークでとりまとめ)

(株)ケイエスピーや湘南アイパークの**多彩なベンチャー支援**
機能を活用して**開発件数の絶対数増加**

湘南アイパークでは、細胞データプラットフォーム
フォームなどの各種支援策を検討中

平成27～令和元年度：殿町リサーチコンプレックス推進プログラム

殿町と首都圏連携の強みを活かし、**異分野融合プロジェクトの成功事例**を具体化

「**再生医療と最先端医療機器を融合した脊髄機能再生治療**」

「**生もの**」である「**再生・細胞医療製品の品質評価**」の国際競争力強化

今後の取組み：殿町で展開する**再生医療グローバル・ハブの共創**に関する概要紹介

殿町ライフイノベーションセンターを中心に、慶應義塾大学が実中研・国衛研等と連携して、
首都圏のベンチャー企業等が細胞の培養・加工設備を共同利用できる仕組みを構築予定